

2024年度保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる内容で記入して下さい。

・ A B C D の4段階評価です。

A : たいへんよい
B : よい
C : 一部検討を要する
D : 改善を要する

保育所・こども園名 【 人見認定こども園 】

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
① 会の保育理念を十分に理解し、日々の保育実践に活かしている	A	B
② 園の保育方針、保育目標を理解し、保育を実践している	A	A
評価の根拠 園の保育方針・保育目標を理解したうえで課題を共有している。会議を通して保育の反省及び目標などの話し合いをしている。		
2. 保育について		
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	A	A
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	A	A
③ 評価、資料（諸記録）を集積している	A	A
④ 日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている	A	A
⑤ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	B	B
⑥ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	A	A
⑦ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	A	A
⑧ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	B	B
⑨ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	A	A
⑩ 保育についての話し合いをよくしている	B	B
⑪ 保育士自身が楽しんで保育をしている	B	B
⑫ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	B	B
評価の根拠 子どもが主体的に楽しく生活できるよう保育士間で連携を取りながら一人ひとりに配慮した保育を行っている。		
3. 健康管理について		
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	A	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	B	B
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	A	A
評価の根拠 子ども一人ひとりの健康状態を保育士間で共有し、体調に合わせた保育を行っている。		
4. 行事について		
① 行事の種類や実施回数は適切である	A	B
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	A	B
評価の根拠 行事の実施回数やねらいは適切であるが保育士の業務負担を軽減するよう作業内容の工夫を行う。		
5. 食育について		
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	A	A
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	A	A
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	A	A
評価の根拠 調理担当者は子どもの喫食状態を見てコミュニケーションを図っている。保育士と献立会議を行い献立を検討している。		
6. 運営について		
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	A	A
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	A	A
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	A	A
評価の根拠 会議をスムーズに進めるためにレジュメを作成し、情報の共有を図り、職員間の連携体制を構築していく		

自己評価の観点		前年度 の評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について			
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている		A	B
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している		A	A
③ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている		A	A
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している		B	B
⑤ 室内の衛生やクラス廻りの清掃など、気持ち良い環境に心がけている		B	C
評価の根拠 毎月、保育の中に避難訓練、保健指導の学びの時間を取り入れ指導を行っている。			
8. 研修について			
① 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている		A	A
② 研修報告を園内で実施している		B	B
評価の根拠 研修に積極的に参加し、自己啓発に心がけている。学んだことを職員間で共有し更に深めて行けるよう努める。			
9. 情報管理について			
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している		A	A
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している		A	A
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している		A	A
評価の根拠 個人記録は個人情報保護法に基づいて管理しており、職員一人ひとりがしっかりと守秘義務を守っている。			
10. 設備について			
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている		A	A
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している		A	A
評価の根拠 遊具・玩具や園内の設備に不具合が無いか保育士一人ひとりが気をつけ、壊れていたら修理したり廃棄する。			
11. 保護者支援について			
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている		A	A
② クラス懇談や個別懇談を行っている		A	A
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている		A	A
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている		A	A
評価の根拠 送迎時、クラス懇談、個別懇談などで子どもの様子など細目に伝え必要に応じて子育て支援や情報提供を行っている。			
12. 開かれた園づくりについて			
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している		B	B
② 職員による、育児に係る「子育て相談」は充実している		B	B
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している		A	A
④ 中高生の職場体験や実習生の受入体制について、その意義や方針を全職員が理解している		A	A
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている		A	A
評価の根拠 子育て支援等は地域の専門機関と連携を取りながら進めている。実習生の受け入れを積極的に行い保育士育成に努めている。また、地域の小学校・中学校の職業体験の受け入れも積極的に行い保育という職業を伝え将来の職業の選択の一つになる事を期待し関わることを大事にしている。			
13. 情報発信について			
① 保護者に向けて、コドモン、園だより等で情報発信に努めている		A	A
② 地域や小学校等に向けて、行事、子育て支援等の周知に努めている		A	A
評価の根拠 毎月園だより、クラスだよりを発行している。すこやかネットも定期的に更新している。			
14. 人権擁護について			
① 園児一人ひとりの人格を尊重し、適切な言葉がけや関わりをしている		A	A
② 園児の家庭環境や国籍、性別等の多様性を認識し、差別のない関わりをしている		A	A
③ 園児や保護者のプライバシーに配慮し、適切な対応や関わりをしている			A
評価の根拠 子どもの人権に関する研修を園内でを行い差別や虐待に繋がる保育を行わないように職員間で共有した。			
15. 総括			
年間をとおしての振り返りと、子どもの育ちをより豊かなものにするための保育の実現に向けて、今後力を入れて取り組みたい事柄や課題等をご記入ください。			
・前年度の課題に対する自己評価及び前年度よりも改善・充実したと考えられる点			
子ども一人ひとりの発達や特性に合わせ保育士間で関わり方を見直し、子どもの思いや気持ちに寄り添う保育を保育士同士で協力しながら実践することができた。			
・課題だと考えられる点や次年度の計画に反映させたい点			
人見の保育を若い保育士や経験の浅い保育士に伝えきれていないところがあったので、次年度は園内研修を充実させ人見の保育を伝え学び合い、日々の保育に繋がるよう改善に努めていく。保育士同士のコミュニケーションの深度化を図り、情報共有を確実にを行い保育に反映させていく。			